植芝道主、旭日小綬章受章祝賀会

国内外から１２００名が参集



にぎやかな会場

植芝守央合気道道主旭日小綬章受章祝賀会は11月９日13時から京王プラザホテル・コンコードボールルームで開催され、国内外から約１２００名の関係者が一堂に会し盛大に執り行われた。

祝賀会は祝賀会発起人代表として林典夫（公財）合気会常務理事が開会の辞を述べて幕を開けた。（2面掲載）

山谷えり子元国務大臣・参議院議員・（公財）日本武道館常任理事・（公財）合気会理事が来賓を代表して祝辞（2面掲載）を述べた後に、河合純一スポーツ庁長官から寄せられた祝意メッセージ（2面掲載）が司会から読み上げられた。

来賓の紹介に移り、西園寺昌美白光真宏会会長・（公財）五井平和財団会長、西園寺裕夫（公財）五井平和財団理事長、九鬼家隆熊野本宮大社宮司、真砂充敏田辺市長、佐々木修一遠軽町長、山崎善也綾部市長、吉住健一新宿区長、山口伸樹笠間市長が登壇して紹介された。

続いて、門弟一同を代表して祝賀会発起人の尾﨑晌司全日本合気道連盟相談役から記念品が、そして道主ご令孫の植芝紘央さん、植芝智央さんから花束が道主ご夫妻に贈呈された。

その後、道主から謝辞が述べられた。道主は、「開祖、吉祥丸二代道主、私と三代にわたっての褒章と勲章の栄に浴しましたことに感激しております。私個人というよりも、合気道が社会に認めていただけた証として、現在合気道を修業してくださっている多くの方々、合気道を深くご理解くださっている方々を代表して賜ったと思っております。

合気道は開祖植芝盛平翁が『真の武道はいたずらに力に頼って他人と強弱を競うものではなく、自己の人格の完成を願っての求道である』と説き、その体現を目指す道として完成させたものです。現在、開祖の創始した合気道は世界約１４０の国と地域にその輪を広げております。開祖が『合気道が日本と世界をつなぐ銀の架け橋となる』と仰っていたことがまさに現実となっておりますが、今後、開祖が願われた銀の架け橋をより長く・強く伸ばしていかなければならないと思っております。

合気道の理念・技法、すなわち植芝盛平翁の創始された合気道は何の変わりもなく、変えてはならないものです。合気道に携わってくださるすべての方々のそれぞれのお力添えが合気道という木の栄養となり、枝葉を大きく伸ばしてくださっております。この枝葉がより一層茂るように、合気道の理念をより良い形で正しく次世代へ継承して行くことが私の責務と思っております。

このたびの叙勲をこれまでの労いとは思わず激励と思い、終生歩みを止めることなく合気道に邁進する所存です。本日は本当にありがとうございました」と述べられ、会場は盛大な祝福の拍手で包まれた。

祝宴は九鬼家隆熊野本宮大社宮司による「弥栄（いやさか）」の発声で乾杯が行われ、会場は一気に華やぎを増した。

祝宴中、道主ご夫妻は出席者に感謝の言葉をかけながら会場内を巡り、会場の至る所で道主ご夫妻を囲んでの記念撮影が行われ、会場内に笑顔が広がった。また出席者が、壇上の旭日小綬章を囲んでの記念撮影も盛んに行われていた。

式典の最後に祝賀会実行委員長の植芝充央（公財）合気会専務理事・合気道本部道場長が「このように多くの皆様と共に道主のご受章をお祝いできることを心よりうれしく思い、また誇りに思っております。道主がこの栄えある章を賜られましたのは、道主ご自身の長年にわたる弛まぬ努力の賜物であり、同時に、全国各地、そして世界各国で日々稽古に励んでいる皆様のご精進あってのことと考えております。これからも道主のもと、合気道の精神を大切にしながら、日々の稽古に励んでまいりましょう」と閉会の辞を述べた。

道主ご夫妻が退場される際には、出席者一同が惜しみない拍手で見送り、盛会のうちに祝賀会は幕を閉じた。


花束贈呈をしたご令孫（左から）智央さん、紘央さんと、道主ご夫妻


あちこちで道主を囲んで記念撮影



閉会の辞を述べる植芝本部道場長



謝辞を述べる道主



九鬼宮司の音頭で乾杯

◇本部道場の年末・年始行事予定◇

12月25日（木）　稽古納め
12月26日（金）　大掃除　９：00～12：00
12月31日（水）　越年稽古　23：30～０：30
〈令和８年〉
１月６日（火）　稽古始め
１月10日（土）　全国道場・団体連絡会議　14：30～16：30
新年賀詞交換会（京王プラザホテル）17：00～19：00
（朝９時以降の本部道場の稽古は全てお休みです）
１月11日（日）　鏡開き式　14：00～
１月19日（月）～１月28日（水）　寒稽古

入身転換

今年春の叙勲で植芝道主が旭日小綬章を受章された。開祖・植芝盛平翁、二代道主・植芝吉祥丸先生に続き受章されたもので、われわれにとっても合気道を修行するものとして誠に喜ばしく名誉であり誇りでもある。

その祝賀会が先月京王プラザホテルで大勢の道友が集い盛大に開催された。

檀上でお孫さんの紘央さん、智央さんのお二人から道主ご夫妻に花束が贈呈されて祝賀ムードが一気にたかまった。その直後、挨拶に立たれた道主が合気道に一生を捧げる覚悟を述べられ、聞いていて胸があつくなった。道友各位も道主と共に合気道の更なる普及発展に寄与すべく新たな決意を心に誓ったのではなかろうか。

先月末には恒例の全国学生合気道演武大会が日本武道館で行われた。今年は参加校が増えて出場者も大幅に増加した。特に出場者が30名を越える大学も２校あり畳の枠をはみ出して伸び伸びと演武する様は圧巻だった。演武の第一部と第二部の合間に鈴木師範の指導のもと稽古錬成が行われた。第二部が終わって植芝本部道場長による総合演武で大会は幕を閉じた。

大会終了後、日本武道館の中道場の一階のレストラン武道で祝賀会が行われた。道主や本部道場長、更には師範の先生方を囲んでの歓談は学生たちにとって有意義な一時となったであろう。特に合気道の普及発展の鍵を握る彼等学生達には道主や道場長の熱い思いが伝わったことと思う。

ところで、学生の新役員が発表されたがコロナ禍の影響で役員の数が非常に少ないそうだ。学年にこだわらず役員を選び、和合の精神で来年の大会も盛り上げて貰いたいものだ。

（可児　晋）

合気道新聞
毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号（郵便番号162 0056）
公益財団法人　合気会
（合気道本部道場）
編集人　可児　晋
電　話03（3203）9236（代表）
ＦＡＸ03（3204）8145
購　読　料
１ヵ年　2,800円
郵便振替
00150－0－49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道　歌

敵下段
同じ構への
中段に
上がり下りに
移りかむるな

各界から祝辞



開会の辞　祝賀会発起人代表　林典夫（公財）合気会常務理事

「合気道開祖・植芝盛平翁、吉祥丸二代道主、ならびに今般の守央道主と三代続き褒章と勲章を受章されました。大変に栄誉なことでございます。日本という国が合気道の素晴らしさを認めていることの表れと思っております。今日は生憎の雨模様ではございますが、ささやかな雨でございますので、うれし涙ととらえていただければよろしいかと思います。皆様が一堂に会しましたのでぜひともこの栄えある喜びを一緒に分かち合いたいと思います。全員で道主ご夫妻を心を込めてお祝い申し上げたいと思います」



祝辞　山谷えり子元国務大臣・参議院議員・（公財）日本武道館常任理事・（公財）合気会理事

「開祖・盛平翁、吉祥丸二代道主、そして現道主と三代にわたって、褒章と勲章を賜りましたことは類例がないということで、その重さ、尊さを感じているところでございます。道主は合気道に関わる皆様を代表して受章したものと考えているとおっしゃられております。そのお言葉から、私たち合気道を学び、修業している者はお稽古を一生懸命に続けていくとともに、社会生活の中で合気道の心を広げる責務をいただいているのだと感じております。

合気道は今、１４０の国と地域に広がっております。中心軸がぶれずに豊かに広がっています。これは道主のリーダーシップとともに、皆様方のご努力の積み重ねだと感じています。『弛まず磨け道の人々』という言葉を思いながら合気道を修業させていただいていることを誇りに思い、こうして道主と皆様とともに喜びを分かち合う、この日のことを胸に刻み、身体に刻み、明日からもしっかりと合気道、弥栄の気持ちで歩んでまいりたいと思います。本日は誠におめでとうございます。そして道主、これからもよろしくご指導くださいませ」

河合純一スポーツ長官からのメッセージ

「このたびは旭日小綬章のご受章を心よりお祝い申し上げます。植芝様の長年にわたる合気道の普及・振興へのご尽力、またそれを通じた公共および国際社会への多大なるご貢献に深く敬意を表します。この上ない栄誉をお慶び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とさらなるご活躍をお祈りいたします」

開祖ゆかりの友好都市間で調印式



道主を中心に

和歌山県田辺市、北海道遠軽町、京都府綾部市、東京都新宿区、茨城県笠間市（記載順は合気道開祖植芝盛平翁の足跡順）は11月８日、新宿区若松町の若松地域センターにて「合気道開祖植芝盛平翁を縁とする相互交流等に関する覚書」の調印式を行い、真砂充敏田辺市長、佐々木修一遠軽町長、山崎善也綾部市長、吉住健一新宿区長、山口伸樹笠間市長代理・近藤慶一副市長が出席して相互交流の覚書に署名した。（公財）合気会からは、植芝守央理事長、植芝充央専務理事が立会人として出席した。

この覚書は、５市区町が「共に合気道の開祖である植芝盛平翁ゆかりの地として、共通の誇りを礎とし、合気道を通じて親密なる交流を図ることにより、相互の理解と友好親善を深めるとともに、災害時においては相互応援を図る」ことを目的としている。立会人として覚書に署名した植芝理事長は、「合気道開祖が唱えたお互いを尊重する和合の心が体現された」と話し、５市区町の交流が様々な分野で一層活発化することに期待を示した。

田辺市、遠軽町、綾部市、笠間市は２００８年２月に「植芝盛平翁ゆかりの４市町」として友好都市提携を締結。２０１１年の東日本大震災の発災を契機として、翌２０１２年には大規模再災害発生時の相互協力を目的とした「合気道創設者ゆかりの友好都市間における災害時相互応援に関する協定」を締結するなど様々な交流を重ねてきた。この度の覚書への署名により、植芝翁をゆかりとする交流の輪に合気道本部道場が所在する新宿区が正式に加入することとなった。

左から山口伸樹笠間市長代理・近藤慶一副市長、佐々木修一遠軽町長、植芝充央（公財）合気会専務理事、植芝守央（公財）合気会理事長、真砂充敏田辺市長、山崎善也綾部市長、吉住健一新宿区長

調印式の最後には、春の叙勲で旭日小綬章を受章した植芝理事長にサプライズで花束贈呈が行われ、５市区町の首長が祝福する中で植芝理事長は満面の笑顔をみせていた。

信州大学合気道部創部50周年を盛大に祝う

信州大学合気道部創部50周年は、植芝守央道主をお迎えし、10月25日、ホテルブエナビスタ（長野県松本市）にて記念の祝賀会を開催しました。当日はあいにく小雨が降る天気となりましたが、集まった参加者たちの表情は晴れ晴れとしており、半世紀という節目の喜びを象徴しているようでした。現役部員やOB・OG、関係者など約２００名が一堂に会し、会場は終始、温かい雰囲気に包まれました。

祝賀会では、植芝合気道道主にお祝いのお言葉をいただき、また、部の礎を築かれた初代師範の石垣晴夫様をはじめ、長きにわたり部の活動にご協力いただいた来賓の方々にも列席いただき、記念品贈呈などを通じて、これまでの感謝の気持ちを一同でお伝えする事ができました。



道主を中心に

会場では、創部に尽力された諸先輩方から、コロナ禍を乗り越えた現役生まで、幅広い年代の方々が世代を超えて和気あいあいと歓談する様子が見られました。久しぶりの再会を喜び合うOB・OGの姿や、世代を超えた技術交流の話に花が咲き、部の強固な絆を改めて感じました。

祝賀会を盛会に行うことができました事に関係者各位に深く感謝申し上げます。（信州大学合気道部ＯＢ会会長　武岡慎之介）

埼玉大60周年の祝賀会・講習会

埼玉大学合気道部（１９６６年今村樹憲氏らにより創部）は、創部60周年記念祝賀会を大宮・清水公園にて植芝守央道主をお招きして開催しました。祝賀会には、植芝守央道主、萩原昌好名誉顧問、小林保雄名誉師範、長谷川有貴顧問、石垣晴夫師範をはじめ、歴代顧問・コーチ陣、創部者の今村氏、ＯＢ・ＯＧ・現役生ら計１４７名が参加しました。

祝辞や記念品贈呈、参加したＯＢ・ＯＧ・現役生全員の紹介などを通じて盛会のうちに幕を閉じました。



道主を中心に

11月２日には埼玉大学にて記念講習会を開催いたしました。

講習会では植芝充央本部道場長をお迎えし、基本技を中心にご指導いただき、ＯＢ・ＯＧ・現役生61名が参加しました。稽古後の懇親会では道場長との充実した交流の機会となり、合気道部のこれからの成長と活躍に向けて期待とご高配をいただきました。

最後にご多忙の中ご出席くださったご来賓、ＯＢ・ＯＧの皆様に、この紙上をお借りして御礼申し上げます。（Ａ＆Ｐ合気道横山道場の横山仁一）

全国合気道指導者研修会

第13回全国合気道指導者研修会は10月31日から11月２日まで日本武道館研修センター（千葉県勝浦市）にて開催された〈主催（公財）日本武道館、（公財）合気会〉。本研修会は学校教育における合気道の指導法に関する実技と講義を行い、学校における合気道の指導の充実に資することを趣旨に行われた。

講師は植芝充央合気道本部道場長、前川直也国際武道大学教授、園部豊帝京平成大学准教授、佐藤貴東京都立農産高等学校保健体育科教諭、尾﨑晌全日本合気道連盟相談役、林典夫（公財）合気会常務理事、日野皓正本部道場指導部師範、梅津翔同師範、桑原将太同指導員、中村仁美同指導員を迎え、保健体育科教員・学校関係者10名、全国の都道府県より連盟関係者42名、学生４名が参加した。



植芝道主に記念品を贈呈する尾﨑全日本連盟相談役



旭日小綬章

初日の開講式では主催者として植芝充央本部道場長が「本講習会は今回で13回を迎え、年々その意義が高まっています。学校教員10名と連盟から42名の方にご参加いただき、合気道への理解を一層深め、学校や地域と連携した活動にお役立ていただければと思います」と挨拶。続いて端春彦（公財）日本武道館振興部副参事兼振興課長より「学校教育の現場においては、生徒が楽しく、そして安全・安心に学べる授業づくりを進めていただきたいと思って おります。今回の研修会で学ばれたことを、ぜひ地元にお持ち帰りいただき、地域での指導や教育活動の中で広めていただければ幸いです」と挨拶があった。

研修会は植芝道場長による講義・稽古で始まった。合気道の歴史、稽古方法、技法の説明があり、実際に稽古を行い、どのように稽古が展開されているか示された。

続いて、前川直也国際武道大学教授による「指導者が注意しておきたいこと」の講義が行われた。実際の教育現場を想定し、生徒からこのような言葉をかけられた場合、どのように対応するかといった具体的な場面をもとに、ハラスメントへの理解や生徒との望ましい関わり方について、個人ワークやグループワークを交えながら進められた。

研修２日目は、桑原指導員による中学校合気道指導法①、梅津師範による中学校合気道指導法②が行われ、保健体育科教員と学校関係者を対象に中学校武道授業に即した各技の指導法が行われた。また、都道府県連盟関係者は尾﨑相談役の司会進行による全国指導者研修①が行われ、都道府県連盟の代表者により「学校要請に応える部活動の地域移行について」をテーマにグループでの意見交換と発表が行われた。午後は、園部豊准教授による「主体的な学びを促すアプローチ」の講義が行われた。モチベーションの理論やコミュニケーションスキルを基に、学習者の主体的な学びを促す方法について、多くのグループワークを通じて実践的に行われた。

続いて、中学校合気道指導法③では、指導法①②の内容を基に模擬授業が行われた。模擬授業は３種類の形態で行われ、体育教員による授業を都立農産高等学校佐藤貴保健体育科教諭他、合気道未経験で今回の研修会に初めて参加された教員２名、外部指導者による授業を梅津師範、ティームティーチングによる授業を初参加の教員・中村指導員が担当し、各担当者はそれぞれの授業の展開の仕方を提示した。

なお、実技①②③では令和元年10月に合気会から発行された合気道指導の手引第３版をもとに行われた。

２日目は、林常務理事の司会進行のもと、全国指導者研修②「学校授業の事例報告」が行われた。

実際に授業を実施した学校の先生方から、授業を始めた経緯や授業内容、生徒の反応などについて、詳細な報告があった。

閉講式では主催者を代表して端春彦振興部副参事兼振興課長と林常務理事より挨拶があり、受講者代表に修了証が渡され３日間の研修会が閉会した。

合気道を正課に採用している
日本体育大学
国際武道大学

モンゴル巡回指導

私（日野）は10月23日から27日まで、本部道場巡回指導としてモンゴルのウランバートルへ指導に行った。

23日夜にモンゴルに到着、24日から26日まで1時間半の稽古を4回と昇段審査を行った。稽古には30名から50名が参加。

コロナ禍を挟んで10年目の訪蒙であったが、地元企業による稽古場の提供と新規入門者の激増で、普段からの元気な活動を感じられた。少年部会員も入り混じって行った稽古もあったが、一般会員と同じように稽古が出来る子供もいた。少年部を担当している指導者は、本人も中学生くらいから稽古を始めたということもあり、自身の経験を活かしてとても良くまとめていた。少年部は約40名が在籍しているとのことで、今後の発展に強く希望が持てる。


モンゴルの会員達

また一般会員のみの稽古では、各々が向上心を持って取り組むことに加え、初心者や初級者の面倒を有段者が交代でみており、参加者全員が同じ方向を向いて稽古に臨む姿勢を道場が一丸となって作ろうとしている様子が伺えた。

26日には審査を実施し、初段9名、三段2名が合格した。初段の審査が9名もおり、少年部会員の多さと併せてモンゴル国内での今後ますますの発展を確かに感じながら、27日早朝、マイナス15℃のモンゴルを後にした。（本部道場指導部師範　日野皓正）

ブルガリア講習会

私（栗林）は10月16日から21日まで、ブルガリア合気道連盟講習会の為、首都ソフィアを訪問しました。

今回はブルガリア合気道連盟創立35周年記念行事も兼ねており、ブルガリア国内各地のBAF傘下団体や友好団体、更に欧州各地から合気道を通じた仲間達がお祝いのためにソフィアに集まりました。

講習は17日夜から19日午前まで計4回の稽古が行われ、200名程参加しました。


栗林師範の後取りの指導

講習会に先立ち17日日中には在ブルガリア日本国大使館に町田参事官と村木広報文化担当官を表敬訪問し、日頃よりのブルガリアにおける合気道活動への支援に感謝を申し上げました。

また35周年記念イベントとして、18日夕方にはBAF傘下団体による演武大会が行われ、多くの観衆の前で日頃研鑽の成果を披露しました。

昨年6月に訪問した際同様に、参加者の中には少年部の会員や高校生、大学生も多く見られました。

全体的に若さが際立つ印象であり、将来のブルガリアでの合気道の発展が大いに期待できそうです。（本部道場指導部師範栗林孝典）

チェコ講習会

私（藤巻）は、10月22日から28日まで、チェコ合気道アソシエイション（パベル・スカルスキ代表）の講習指導のため、プラハ市を訪れた。土・日曜日とも、午前午後2時間ずつの講習の全てを私が担当させていただいた。

プラハ市内にある会場のロキカ・アカデミー道場にはヨーロッパ9か国から142名が参集し、そのうち約3割が1級までの初心者だった。

講習は基本技と応用技を織り交ぜて行ったが、主催者からの要請で、初日の午後には初心者のみの講習会の時間も設けられた。

この団体は比較的若年層が多く、若者同士のつながりで、年々チェコ以外の国からの参加者が増えていると聞いていたが、今回はそのことを実感する事が出来た。


藤巻師範の指導を見つめる会員

これからも、国際的に開かれた団体であってもらいたいという想いを、改めて感じて帰国した。（本部道場指導部師範　藤巻宏）

リトアニア講習会

リトアニア合気道合気会連盟は10月2日から5日までの間、菅原繁本部道場指導部師範を招き、第15回国際講習会を首都ヴィリニュスで行った。参加者は108名。連盟傘下6団体、連盟外から4団体、海外からは英国、ラトビア、オーストリア、フランスからの参加があった。

場所は市内にあるスポーツセンター「スポティマ」格技場を使用した。期間中の講習会は1時間半が5回と審査会が行われた。

参加者は年齢層が幅広いが、若い会員が育っているのが印象的であった。最終日には清水信介駐リトアニア日本国大使が訪れ、稽古終了まで熱心に見学されていた。講習会も15年を数え、今後もリトアニア国内での合気道の普及と充実が望まれる。


金澤師範の指導

ポーランド講習会

私（金澤）は10月17日から19日までポーランド合気道協会（代表：ピュートル・ボロスキー）の要請により、週末の3日間講習会で指導を行った。今回で5回目の指導となる。

今回は以前首都であったクラクフから80キロほど離れた炭鉱の町ドンクルバ・グルニチャで初めて行われ、ポーランドの各地からはもちろん、チェコ、アイルランド、オランダ、イギリスからも参加があり、156名が登録した。

この地で活動しているオルガ夫妻が中心となり企画、運営をし、地元の会員が協力して講習会を支えてくれた。予想を超える参加者が集まり、主催者側は嬉しい悲鳴をあげていたが、滞りなく講習会を行うことができたのは主催者側が準備をしっかりと行ったおかげであり、ポーランド合気道協会の団結力を感じた。

来年はポーランドにおける50周年式典が植芝充央本部道場長を迎えて行われる。ポーランド国内の6つの団体が力を合わせ準備を行っているという話を聞き、1つの国で様々な団体があっても協力体制がとれる、ポーランドという国の合気道への想いを感じることができた。（本部道場指導部師範　金澤　威）

モルドバ講習会

私（櫻井）は、講習会のため、10月15日から20日まで、モルドバ共和国の首都キシナウを訪れた。

地理的にウクライナの隣国であるため、戦争勃発以後久しぶりの訪問である。

気のせいか、入国審査が以前より厳しいように感じた。しかし街を歩いていると、以前との違いは感じられない。季節はこちらより進んでいて初冬の冷たい空気が身も心も引き締める。

講習会は転換法から始め、基本を一つ一つ確認しながら空白期間を埋めるような、お互いの気持ちを確かめ合っているような稽古となった。近隣諸国を含め約40名、その中にはウクライナからの参加もあった。

来年も同じ、あるいはより良い状況下での講習会が行えることを心より願っている。（本部道場指導部師範　櫻井寛幸）


櫻井師範によるアドバイス

ギリシア講習会

私（伊藤）は、10月14日から20日まで、ギリシャのテッサロニキとアテネの2か所で講習会指導を行った。夜10時羽田発、イスタンブール行トルコ航空は2時間半遅れて到着。予定していたフライトに乗り継げず、次のフライトまで12時間待ちとなった。

朝9時着予定が夜9時着となり、当日夜7時に予定されていた稽古は、現地ギリシャ合気道財団代表のコスタス六段が担当した。

夜はギリシャ料理を堪能し、翌日午後に旧市街を散策、夜7時から1時間半の稽古を行い、テッサロニキ市内を中心に、アテネやギリシャ各地から50名ほどが参加した。

翌日約1時間のフライトでアテネへ移動、金曜夜はアーモン・ジャネット夫妻の主催するアテネ合気道の本部道場で1時間半、土日は会場を広い体育館に移し、3回の講習を行った。

主催のギリシャ合気道協議会傘下団体を中心に、イタリア、オランダ、イギリス、シンガポールからの参加者含め100名ほどが参加し、稽古で交流を深めた。（本部道場指導部師範　伊藤眞）

令和７年度　秋の叙勲

旭日双光章
クリスティアン・ティシエ氏
（国際合気道連盟高等委員・ＦＦＡＡＡ師範）

フランスにおける合気道の普及及び日本・フランス間の友好親善に寄与。

三松禪寺　講習会

合気道三松禪寺（奈良県奈良市）は、奈良県合気道連盟後援のもと、10月11、12日の2日間にわたって、ロート第二武道場（奈良市中央第二武道場）に栗林孝典本部道場指導部師範をお迎えして特別講習会を開催いたしました。

奈良県内だけでなく京阪神地区など、さまざまな地域の道場から総勢350名が参集し、10月とはいえ夏の暑さがまだ残るなか、田中利明三松禪寺道場長からの感謝の言葉から講習会が始まりました。

栗林師範の特別講習会では、これまで「取り」と「受け」との関係を意識した稽古の大きな講習であった。

講習会終了後は、菅原師範を囲んでの懇親会が行われ、道友との親睦を深めると共にまたの再会を期して幕を閉じた。（小牧合気会　長谷川敬）


栗林師範の指導

小牧講習会

小牧合気会（代表：久木田一郎師範）は、第25回講習会を10月19日小牧市スポーツセンター武道館にて行った。

講師には菅原繁本部道場指導部師範を迎え、愛知県・岐阜県・三重県の三県から計23団体約100名の道友が集まった。

講習は足捌きや単独動作等から始まり、基本の技を中心に行われた。相手との間の取り方や受身からの立ち上がり方等、普段疎かにしがちなことが上達の差になるとご指導いただいた。師範は講習生の相手を精力的にしてくださり、得るものが多く、若者同士のつながりで、年々チェコ以外の国からの参加者が増えていると聞いていたが、今回はそのことを実感する事が出来た。

これからも、国際的に開かれた団体であってもらいたいという想いを、改めて感じて帰国した。（本部道場指導部師範　藤巻宏）


菅原師範の指導

大阪府少年少女錬成会

第10回大阪府少年少女合気道錬成大会は、11月3日、大阪府吹田市立武道館「洗心館」において開催された。当日は、小中学生60名、高校生以上40名の計100名（6団体）が参加し、さらに保護者等60名を超える見学者が来場するなど、終始活気に満ちた大会となった。

開会式では、須磨弘理事長（大阪合氣塾）により開会の辞が述べられ、続いて木村二郎会長（合気道大阪武育会）による主催者挨拶が行われ、その後、講習会と演武大会が実施された。

講習会は、低学年を西田恵子先生（天之武産合気塾道場）、高学年を今泉恵美先生（大阪合氣塾）がそれぞれ指導を担当した。

前半は全体で準備運動、受身、膝行などを行い、賑やかな声の中、元気に体を動かした後、後半は低学年と高学年に分かれて稽古を実施。低学年は大人が受けを取りながら体の転換や呼吸投げなどを行い、高学年は基本技を中心に稽古に励んだ。稽古中、子供たちは終始、元気に笑顔で稽古に励み、活気あふれる楽しい講習会となった。

休憩を挟んで行われた演武大会では、第22回全国高等学校合気道演武大会での都道府県連盟演武のお披露目をはじめ、加盟団体による小中学生の団体演武（5団体）、女性演武（3団体）、次世代指導者演武（2団体）、大阪府合気道連盟役員演武、そして須磨弘理事長により大阪府合気道連盟代表者演武が披露された。

演武大会終了後、木村二郎会長より参加者全員に「錬成証」が授与された。

閉会にあたり、吉田智晋副理事長（公益財団法人大阪合気会）より閉会の辞が述べられ、大会は盛会のうちに無事終了した。（大阪府合気道連盟事務局長　太田吉彦）


全体で記念撮影

各道場の昇段者

令和７年10月15日～11月14日
(公財)合気会登録

【四段】
◆世田谷合気道同好会＝渡邊直樹◆合気道凱風館＝安原裕人、玉岡尚志、松下直人◆合気道広島平進館＝村岡史朗◆丸亀道場＝川上真市朗◆熊野塾＝C.Jauneau、P.Schibler、N.Ilaridis◆江東区合気会＝加藤律子、清野吉雄◆合気道小金井同好会＝大塚洋平◆A.K.I.＝平井俊彰、永易夕紀子◆祥平塾＝野村雄一郎、有川勝広、河野純一、廣渡喜徳◆城南合気会＝柳田保雄◆城東誠和会＝坂本真一◆清明塾＝大友桂◆大阪合気会＝藤井紀人、藤井恵美、鈴木秀直、長谷真吾、奥村裕、澤渡昌利、辻井千里、松浦誠二◆吾勝会＝佐橋透、會津新◆佐世保合気会＝井樋宏治◆千歳合気会＝渡邉武宏◆合気道なごみ会＝眞田幸恵◆明治大学教職員合気道クラブ＝王天藝◆小林道場＝T.Albert、P.Laszlo◆広島国際合気道道場＝B.Heidlauf◆里見八顕会本部＝井上典子◆経済産業省＝鈴木充、山本一◆合気道研心会宮崎合気道会＝瀬尾直聡◆U.S.A.＝G.Marx、J.Eckart、M.Hancock◆MOLDOVA＝S.Belev◆PHILIPPINES＝J.Rosell◆CHILE＝C.Chacon◆BRAZIL＝M.Filho◆ARGENTINA＝H.Castillo、G.Giarmana、F.Santiago◆RUSSIA＝A.Chepelev◆EGYPT＝H.Hosein、A.Zahran◆FRANCE＝G.Taylamin、B.Herbinet、M.Chahba、J.Cocquebert、E.Gostoli、M.Gulamhussen、A.Millard◆VIETNAM＝N.Huong◆IRELAND＝G.Smierzchalska◆CANADA＝J.Baqaeen、P.Gaw◆POLAND＝L.Czapiewski、T.Witkowicz、P.Garczarek◆MALAYSIA＝P.Kang◆SINGAPORE＝何炳燊、歐駿儒◆AUSTRALIA＝T.Nguyen◆ITALY＝A.Arista、G.Angelis、P.Ribichini◆中華民国台湾＝林華煒、邱偉鈞◆MOROCCO＝S.Qacim、M.Hmama、S.Bouzidi◆COLOMBIA＝H.Martinez◆BELGIUM＝L.Fructuoso、A.Versailles◆MEXICO＝M.Torres◆CZECH＝D.Bulgakov◆SOUTHAFRICA＝R.Middelberg

【参段】
◆春陽会＝宮柱佑羽◆合気道凱風館＝杉村朋子◆熊野塾＝T.Lukka、M.Tempus、D.Pontois◆江東区合気会＝中村紹子◆合気道合心館＝中野恵◆合気道桜道場＝村田泰代、依田千鶴◆A.K.I.＝曽根将樹、松井康浩、萬田勝正、川井和久◆祥平塾＝財前里加◆新宿合気会＝赤羽良介◆大宮道場＝山口仁◆大阪合気会＝服部伸行、梅田貴宏、和田至◆大阪武育会＝力津継幸、M.Rufer、P.Koch◆竹豊館＝青木茂二、最田なぎさ、最田裕介◆吾勝会＝村田夏希、神谷智、稲垣正一◆佐世保合気会＝田中靖人◆天草八顕会＝松本博世◆国府台合気道クラブ＝島袋幸代◆合気道多田道場＝山本範之◆東海合気会＝松浦菜穂◆合氣道木下道場＝菅原耀◆合気道天融塾＝髙根雅啓、小倉啓七、鈴木規文◆彩昭会＝濵元慎哉◆合気道神楽塾＝瀬島勇人◆杉並合気会＝I.Powell、T.Tran◆里見八顕会本部＝遠藤寛子◆PHILIPPINES＝E.Fernando◆U.S.A.＝B.Hunkins、J.Tagle、S.Geyer、W.Bates、A.Bentley、L.Luria、V.Stringheti、L.Almeida、S.Santiago、E.Hunter、M.Bartolomei◆RUSSIA＝I.Barinov、A.Boiko、S.Bazhmin、V.Sechenykh、S.Chislov、A.Boychevskiy、E.Bogdanov◆SLOVAK＝F.Krejci、T.Pavlica、P.Beran、D.Sochova◆ARGENTINA＝A.Tomaro、G.Suarez、G.Malic、L.Lasca、J.Genoud、P.Postigo、G.Carella◆EGYPT＝N.Tawfik、M.Ismaiel◆FRANCE＝P.Florez、W.Wong、U.Lyna、G.Kone、S.Fassetta、J.Prost◆CANADA＝T.Mahoney、R.Leveillee、J.Huismans、上村知弘、E.Krabel、M.Wilkie、P.Kirwin◆BELGIUM＝A.Onal、S.Oursel◆POLAND＝W.Grzadzielski、T.Madejski、M.Buczak◆TURKEY＝U.Kaynak、S.Calgan◆中華民国台湾＝沈劭邦、鄭英美◆SPAIN＝A.Garcia◆MEXICO＝R.Garcia◆SINGAPORE＝L.Feng、L.Sim◆INDIA＝O.Thind◆IRELAND＝J.Dolera◆HUNGARY＝A.Toth、O.Homoki◆VIETNAM＝P.Tran◆ITALY＝M.Aru、G.Rossi◆GERMANY＝A.Leidemann、E.Boettcher◆NEWZEALAND＝R.Wildash◆SOUTHAFRICA＝D.Schlebusch◆中国＝宋繼偉、郭凱琪

【弐段】
◆秋田天地塾＝浪岡豊◆合気道凱風館＝岡本正子、藤田可奈子◆熊野塾＝須川達也◆合気道研修館＝川原行男、名古家美智代◆合気道合心館＝數野幸子◆合気道千葉千種道場＝H.Chubari◆船橋市中山合気道会＝安山貴生◆尚武館＝江藤正浩、森岡さや香◆A.K.I.＝中島俊介、稲葉卓也、宍戸和之、松崎貴志、竹本道夫◆祥平塾＝金子久美、香月広光、楊爽、李蒙、范嘉桐◆小林道場＝R.West、A.Gyorgy、K.Janos、A.Marcell◆杉並合気会＝R.Fojt、M.CrabtreeⅡ、A.Croft◆広島国際合気道道場＝K.Ganter◆新宿合気会＝仲宗根正也、山内響◆大阪合気会＝垣井生也◆大阪武育会＝池田善彦、D.Cool、K.Liu、F.Cusatelli、S.Henrotte◆合気道天正会＝髙比義隆、北島篤、高岡英樹◆竹豊館＝冨田博文、福田友佳子◆吾勝会＝會津花恵◆合気道浦和尾又道場＝光田匡孝、光田圭孝◆合気道南大沢尾又道場＝牧口正博◆よみうりカルチャー恵比寿＝神田睦生◆国府台合気道クラブ＝椿照代◆中津合気会＝友松洋一◆泉心塾＝内﨑雪江、戸田治代、北岡奈代子◆彩昭会＝星雅博◆香川県庁合気道部＝山本優太◆合気道神楽塾＝岩切青樹◆武産合氣いよ小松道場＝窪田克彦◆甲府ジュニア合気道＝永田岳◆明治大学教職員合気道クラブ＝水品雅樹、安藤夕莉◆里見八顕会本部＝三上幸江◆宮崎大学合気道部＝伊東輝翼◆PHILIPPINES＝J.Jimenez、J.Quindoy、C.FernandoⅢ、D.Mandabon◆U.S.A.＝C.Battle、S.Scioli、S.Quinn、S.Mcilwain、J.Li、R.Kolada、L.Dobbs、A.Oliveira、H.Mirzaei◆CHILE＝G.Lopez◆GERMANY＝V.Schallenberg、V.Kozel、K.Allermann、A.Purwa、C.Fulda、F.Bahrolloomi、M.Low◆SLOVAK＝M.Holod、A.Martinec、I.Halahovets、I.Frankovicova◆ARGENTINA＝G.Guskoski、R.Giardini、C.Garcia、E.Torres、G.Assef、A.Bonasera、M.Lotitto、R.Farina、R.Rubel、M.Ploc、C.Francesco、M.Abbiati、O.Leiva、E.Bitancurt◆EGYPT＝A.Kalish、M.Abdelaziz◆POLAND＝I.Hetmanczyk、A.Kos、A.Skrobisz、M.Piekarek、M.Michalska、L.Dryzner、K.Krause、A.Smoczynska、J.Konkol、M.Malinowski、I.Smoczynski、S.Klochowicz、J.Krajewski、D.Matusiak、K.Poddebniak、O.Slysz◆TURKEY＝B.Tunc◆SPAIN＝D.Genov、S.Chacon、C.Garcia、M.Cid、D.Menendez、J.Diaz、L.Huster、N.Villar◆MALAYSIA＝P.Low、彭滿成◆MEXICO＝J.Vera、A.Zamudio、M.Perez◆BELGIUM＝C.Viola、T.Halleux◆RUSSIA＝V.Steblevskiy、K.Vasilenko、S.Syromyatnikova、D.Okatov◆SINGAPORE＝W.Koh、S.Neo、正木則子、D.Cabanela◆INDIA＝A.Sangra◆SWITZERLAND＝B.Mock、S.Wuhrmann、A.Garcia、G.Wasser、A.Rufer、M.Litschgi◆ITALY＝W.Mancini、G.Buttigliero、A.Brunetti◆MOROCCO＝S.Stitou、E.Abdulfatah、J.Mahmoud、C.Raiss、A.Graiet、L.Abbad、A.ArbaouiJ.Lapacek、L.Pozdnikova、E.Eminov◆INDONESIA＝A.Kasan、A.Sugianto◆CANADA＝Y.Hager、D.Nesbitt◆COLOMBIA＝伊元智恵子◆GREECE＝K.Dritsakos、M.Louverdis◆CZECH＝A.Shmatov◆FRANCE＝M.Perona、O.Randreza、C.Harzic、E.Minet◆中国＝P.Andrey

【初段】
◆自灯館＝清田優美◆山口合気会山口道場＝藤原智弘◆世田谷合気道同好会＝西井菜海◆合気道凱風館＝三反畑誠、松村克枝、柿﨑理恵、鈴木圭介、酒井緑、加野佑依、西晴加◆皇武塾＝末次遼伍、山口真矢、加藤俊介、野原忠◆Ｊ１合気会＝岡﨑庸泰◆合気道武徳道場＝九鬼琉杜◆熊野塾＝P.Chanclou、G.Theix、V.Orhand、J.Beaurepaire、A.Lahti、A.Theix◆合気道研修館＝長根蒼依◆江東区合気会＝鈴木康史、本幡羊子◆合気道合心館＝西田梨花子、池田聡久、井上満康◆合気道自在館＝加藤更弥、長峯亘、渡邊紬弘、小林蒼生、遠藤孝明◆秋田能代合気会＝植田あけみ◆合気道小金井同好会＝柳沢琴恵◆合気道千葉千種道場＝M.Ebrahimi、P.Tavakoli◆A.K.I.＝橋本鋭一、武田麻美子、廣田淳、桑原明子、宮下良子、須佐麻美、松本吉広、森田洋一、栗林弘志、太田頼秀、石河幾久雄◆祥平塾＝芥川真紀、菅原まりも、藤島哲也、赵晨娟、侯玥、伊嘉宁、马燕、杜皎◆神武館＝甲斐諒真、石黒聖人、小西寛昌、富田莉功◆清明塾＝富山正啓◆大阪武育会＝福山明昇、藤村崇司、細井結衣、河合真里江、南加織、南原颯人、新井紅音、M.Latos、I.Sari◆合気道天正会＝永谷沙織、大橋純夫◆大田区合気道会＝小松稔之◆竹豊館＝三田真聡◆吾勝会＝林田忍◆佐世保合気会＝松尾成華、鈴田尚之◆天草八顕会＝石津もと子、舩田浩子◆京都近江合気会＝寺田葵◆千歳合気会＝井手いず貴◆明治神宮至誠館＝O.Julia、V.Radzinskiy◆合気道南大沢尾又道場＝赤坂菜那子◆岩見沢合気道会＝続橋丈二◆合気道平成会＝松田拓也◆合気道祐天寺道場＝清水陽太◆中津合気会＝渡辺賢太郎◆相生会合気道尼崎道場＝藤原綾子◆名古屋至誠館＝鈴木翔太◆小林道場＝S.Kristof、V.Istvan◆杉並合気会＝C.Powell、B.Tran、M.Osawa、H.Nguyen◆広島国際合気道道場＝B.Fritzsche、A.Hartmann、G.Halupka◆合氣道木下道場＝村井香織、堀越絢音◆合気道興隆会＝中島隆雄◆合気道結ゆう会＝山﨑清美、矢野志保◆彩昭会＝トピヒル・ヴォネン、新井利弘◆合気道神楽塾＝八幡哲弘◆武産合氣いよ小松道場＝野間玲子◆文京区合気道清廉会＝原田浩明◆穎明館中学高等学校＝田中美優◆関西創価高等学校合気道部＝宮﨑陽、眞榮城八雲◆京都大学体育会合気道部＝前田美空◆群馬大学＝安孫子楓、人見心結、礒田虹太、髙野陽貴◆東京外国語大学＝尹載友、坂田吉輝◆富山大学＝桐原魁志、渡辺一旗、畑中啓汰◆金城学院大学合気道部＝増元美陽◆宮崎大学合気道部＝M.Santiwijai◆PHILIPPINES＝R.Silamor、A.Montes◆U.S.A.＝S.Gdovin、J.Whalen、C.Huynh、J.Langlet、S.Riggs、S.Droubi、M.Madeira、C.Leung、P.Bryant、M.Meizis、S.Petkov◆U.K.＝青山小百合◆CHILE＝R.Saavedra◆GERMANY＝J.Gebler、S.Schick、B.Klein、T.Goser、C.Altmeyer、J.Guterl、R.Susanne、J.Walter◆SLOVAK＝R.Guba、O.Cizek、J.Janus、I.Rosmanova、A.Mekys、R.Chmela、O.Ivanova、J.Bodnar、P.Tkacov、I.Polackova◆ARGENTINA＝S.Virga、A.Silva、C.Gentile、D.Fretes、J.Bella、J.Brunfman、E.Baldino、J.Revigliono、V.Luelmo、H.Fernandes、I.Tarsitano、W.Maruk◆EGYPT＝Y.Abdelgawad、N.Afify、R.Abdeldayem、A.Nagib、M.Dauod、M.Ali、S.Escarous、H.Zaki、A.Ibrahim◆FRANCE＝F.Beroul、J.Besse、P.Pastier、T.Pastier、M.Breham、E.Bussiere、E.Depigny、F.Brugiere、J.Chevrie、A.Guidal、E.Chailloux、L.Greck、M.Martin、J.Cast、S.Dumergue、A.Briand◆CANADA＝D.Ceron、D.Singh、E.Bondar、C.Pichette、K.Hrothgar、S.Thoma、G.Gillespie、P.Cook、I.Hall、C.Tseng、P.Ziaei、A.Polera◆POLAND＝R.Mietelski、G.Adamczewski、P.Szajda、L.Zacharewicz、S.Janicki、J.Panek、B.Holubowicz、M.Paszcza、K.Wenda、M.Baba、M.Konefal、Z.Galicka、M.Mikolajczak、M.Dubicki、H.Paciorek、M.Aleksandrova、J.Poddebniak、A.Szefler、P.Sztab、J.Bulat、J.Pasieczny◆TURKEY＝I.Genc、A.Genc◆SPAIN＝J.Diaz、A.Gomes、B.Martins、D.Nunes◆RUSSIA＝A.Manenkova、T.Makarevich、A.Merkulov、F.Yurishin、B.Tyamoyun、I.Filatov、E.Semenenko、D.Krivokhizhin、Z.Korotkov◆SINGAPORE＝S.Lee、陳珏霓、張嘉敏◆INDIA＝V.Jhanji◆BRAZIL＝H.Albuquerque◆SWITZERLAND＝S.Ayala、N.Lohberger、R.Braendle、S.Trittenbass、C.Linggi、R.Oeschger、R.Napolitano、C.Buechler、A.Badertscher◆ITALY＝F.Amati、緒方ルカ、櫟本瑞乃◆GREECE＝G.Demetriades、A.Vathis、C.Outsika◆COLOMBIA＝L.Quinones、J.Echavarria、D.Escobar◆BELGIUM＝W.Paque、F.Chevalier、A.Cocraimaont、A.Ameti、M.Staeyen、R.Baelmans、D.Giraldo、J.Denis◆中国＝張鋭、A.Beauchamp、F.Chong

新潟で講習会

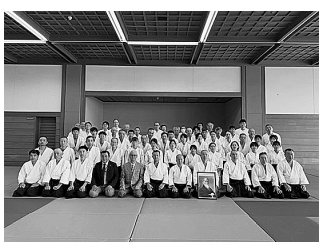
第49回新潟合気道演武大会・講習会は、10月4日・5日の2日間、金澤威本部道場指導部師範をお招きし、新潟市鳥屋野総合体育館にて開催されました。

参加団体は、県内12団体、1大学、県外4団体。2日間で述べ70名が集い、稽古・演武を行いました。

講習会では、「いかに自分の重心を相手に乗せていくか、それに対して受けはどのように身体を使うのか」といったことを基本技を通して指導いただきました。参加者は、最後まで集中を切らすことなく稽古に励みました。

演武大会では、県内若手指導者の基本演武から始まり、ジュニア、県内外の団体、指導者と演武が続き、最後に金澤師範から講習会の総括として、基本技の演武をご披露いただきました。

（新潟合気会　事務局長　玉木駿佑）


金澤師範を中心に

愛媛、指導者研修会

令和7年度愛媛県（松山市）地域社会合気道指導者研修会が10月25日、26日に愛媛県立武道館にて開催された。中央講師として菅原繁本部道場指導部師範、地元講師として安野道和師範（今治合気道教室）、不動俊樹師範（松山坊ちゃん道場）が指導を行い、19団体175名が参加した。

25日に小清水祥孝愛媛県合気道連盟理事長の開会の辞によって研修会は始まり、主催者挨拶として、尾﨑幸朗愛媛県武道館館長より主催者挨拶を頂いた。

研修会は菅原師範による稽古が5時間、安野師範・不動師範の稽古が1時間ずつ行われた。菅原師範は2日間の稽古を通して、受身の単独動作、半身の姿勢、基本的な体捌きを参加者と確認し、正面打ち第一、入身投げなど基本技を中心に指導された。

26日の閉会式では総評として菅原師範より「この2日間、皆さんと稽古できたことうれしく思います。参加者の方はよく稽古に励んでいたと思います」と述べた。最後に松田正司愛媛県合気道連盟会長が菅原師範、参加者に謝辞を述べ、2日間の講習会は怪我や事故なく無事に終了した。（本部道場指導部指導員　里舘潤）


菅原師範の指導

関西学連演武会

第61回関西学生合気道演武大会が、10月25日に吹田市立武道館洗心館にて開催されました。本大会には連盟加盟校のうち、10団体129名が参加。合気道本部道場より、金澤威師範にお越しいただきました。

演武大会の前には、講習会を開催し、金澤先生にご指導いただきました。合気道の技の動きについて詳細なご教示をいただき、学生同士で活発な稽古が行われました。加盟校の大学での稽古の質の向上につながる大変有意義な時間になりました。

演武大会では、どの大学もそれぞれの稽古の成果や特色を出しながら、生き生きとした演武を披露しました。演武者にとって、非常に充実した大会になったと感じました。また、本大会には、連盟加盟校に加え関東学連と中部学連の方々にもご参加いただきました。どの学連の賛助演武も大変見応えがあり、素晴らしい演武で本大会を盛り上げてくださったこと、非常にありがたく思っております。

金澤先生の模範演武では、前半の講習会でご教授くださったことを中心に演武をしていただきました。講習会の内容の重要性を学生がより一層認識し、今後の稽古により具体的に取り入れることができる、そのような演武を拝見することができ、私自身非常に感動いたしました。

多くの方々のご協力、ご指導のもとで無事に本大会が開催されましたこと、心より嬉しく思います。今後とも関西学生合気道連盟をよろしくお願いいたします。（関西学生合気道連盟委員長　山岸俊）


金澤師範を中心に